

## 平成 30 年度( 保健体育科 )授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	<p>授業規律の確立 ...基礎・基本を身に付けさせるために、授業規律を確立させる。</p> <p>基本的な知識・技能の習得 ...基本的な知識・技能の習得が難しい生徒の指導を工夫する。</p>	<p>集合時間、聞く時の姿勢、集団行動が日々の生活に繋がることを伝えていく。授業規律の確立で、基礎・基本の定着を確実に行う。</p> <p>生徒の実態に合わせて課題を掘り下げた内容を取り入れる。運動が苦手な生徒に対しては、その生徒に即した課題を設定し、指導する。</p>	<p>生徒の実態に応じた指導を行う。強く指導するだけでなく、なぜこれが必要なのかを、具体的に説明していく。そして、自分で発見できるよう必要に応じ助言を与える。</p> <p>授業の始まりに行う補強運動を毎回行い、基礎体力の向上を図る。つまずきを発見して個別に指導していく。</p>
2 年	<p>意欲の向上 ...授業評価の分析結果より、授業に対して意欲的に取り組めていない生徒がいる。</p> <p>わかりやすい授業 ...授業評価の分析結果より、わかりやすい説明や板書等の提示の方法を検討し、実践する。</p>	<p>単元において、生徒の実態を加味し、分かりやすく実施しやすい課題を提示していく。他者との関係性や声かけを意識させていく。</p> <p>具体的な動きを生徒の代表に示させ、理解できていない場面においては必ずやり直させる。</p>	<p>技能の高い生徒に応じた場の設定を行う。また、課題の多い生徒に対しては、その生徒に合った支援や言葉かけを行う。</p> <p>個に応じた具体的な助言ができるように観察、指導する。</p>
3 年	<p>~ 授業評価の分析結果より ~ 資料提供や板書をするタイミングを設けて指導していく。</p> <p>予習や宿題についての課題を提示していく。</p>	<p>オリエンテーションなどを第1時間目に設けて、資料提供をしていく。また、ゲームの待ち時間などに VTR を流して学習させる。</p> <p>3年生は、特に運動量が減るので宿題を出したり、課題を出したりする。</p>	<p>ワンダフルスポーツを活用するだけでなく、その中で特に重要な箇所をプリント集にして学習させていく。また、運動計画や体力増強計画を作ったりして、意欲に繋げながら成果を出していきたい。</p> <p>保健の学習ノートを活用して宿題をさせる。</p>